

影響

もしクビアカツヤカミキリの被害が拡大したら…

- ⚠️ お寺や神社のサクラやウメが枯れてしまう！
- ⚠️ 桜の名所がなくなる！
- ⚠️ ウメやモモなどの果樹が作れなくなる！ かも…



<樹木内の幼虫>

被害を防ぐためには **早期発見が重要!**

クビアカツヤカミキリの幼虫は

およそ**2年間**も木の中にいる



4月~10月頃
確認がしやすい!

探す手がかりは

フラス

(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)

フラスの特徴



よく見られるフラスの様子

2~5mmほどの太さで、
ひき肉のように
連なって出てくる

被害の進んだサクラ

被害が激しくなると、
木の地際に大量の
フラスがたまっていく



フラスの拡大写真

拡大すると、木くずはスプーンで
くりぬいたような形をしている

もしも発見したら…

成虫の捕殺や被害木に防風ネットを巻き付ける
などの防除のご協力をお願いします。

参考文献：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

- 首の赤いカミキリムシを見つけた
- サクラやウメ、モモから木クズが大量に出ている

すぐにお住まいの市町村か
京都府までご連絡ください!

詳細は
こちら



<https://www.pref.kyoto.jp/gairai/kubiakatsuyakamikiri.html>

市町村名	担当課	電話番号	市町村名	担当課	電話番号	市町村名	担当課	電話番号
京都市	環境政策局環境企画部 環境保全創造課	075-222-3951	長岡京市	環境経済部環境政策室	075-955-9685	笠置町	税住民課	0743-95-2302
福知山市	産業部エネルギー・ 環境戦略課	0773-48-9554	八幡市	市民生活部環境業務課	075-983-2798	和束町	農村振興課	0774-78-3008
舞鶴市	市民環境部生活環境課	0773-66-1064	京田辺市	経済環境部環境課	0774-64-1366	精華町	健康福祉環境部 環境推進課	0774-95-1925
綾部市	市民環境部環境政策課	0773-42-1489	京丹後市	市民環境部生活環境課	0772-69-0240	南山城村	産業観光課	0743-93-0105
宇治市	人権環境部環境企画課	0774-20-8726	南丹市	市民部環境課	0771-68-0085	京丹波町	健康福祉部住民課	0771-82-3803
宮津市	市民環境部市民環境課	0772-45-1617	木津川市	市民環境部環境課	0774-75-1215	伊根町	住民生活課	0772-32-0503
亀岡市	環境先進都市推進部 環境政策課	0771-25-5023	大山崎町	経済環境課	075-956-2101	与謝野町	農林環境課	0772-43-9023
城陽市	市民環境部環境課 (農地以外)	0774-56-4061	久御山町	事業環境部産業・ 環境政策課	075-631-9964 0774-45-3914	京都府	総合政策環境部 自然環境保全課	075-414-4706
向日市	環境産業部衛生環境課	075-874-2189	井手町	産業環境課	0774-82-6168			
			宇治田原町	建設環境課	0774-88-6639			

WEBでの
ご連絡はこちら



特定外来生物

サクラやウメ、モモを
食い荒らし枯らす!

クビアカツヤカミキリ

警戒中!!

5月末~8月頃
成虫発生!

木クズを見つけたら
要注意!!



フラス

(幼虫のフン・木クズ)

つかまると
臭い液を出す

胸部
(首の部分)
が赤い!

光沢のある
黒いボディ

実寸大
(体長 2.5~4cm)

木の内部を食い荒らし
枯らす!

主にサクラやウメ、モモなどのバラ科の樹木に付き、幼虫が木を内部から食い荒らします。木からは大量のフラス(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)が排出され、侵入された木は弱り、枯れてしまいます。

成虫を見つけたら、

踏み潰すなどして駆除を!

クビアカツヤカミキリの侵入地域(2025.12)

もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、2011年に埼玉県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

京都府では2024年7月に初めて確認されました

◎これまでに被害を確認した地域

京都市、福知山市、綾部市、向日市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、精華町

防除のご協力をお願いします。
みなさまの力で京都のサクラ等を守りましょう!

防除対策

状況に応じて、組み合わせて対策することが大切です！

(1) ネット巻き・捕殺

- 羽化した成虫の飛散防止や新たな産卵の防止のため、成虫発生時期(5～8月)には被害木にネットを巻き付けます。
- ネットは、目合い4mm以下の強度のある防風ネット等を使用します。
- ネット巻きの方法

- ①約2mの高さで、主枝にガンタッカー等で固定し、ひもやテープでしっかりと縛る。
 - ②ネットの噛み切りや、産卵を防止するために、ネットと樹幹が密着しないよう、やや隙間を持たせて巻く。
 - ③ひこばえや雑草を抑制するために、防草シートを敷き、ペグ等で防草シートとネットを地面にしっかり固定する。
- ・ネットを巻いた後も定期的(2～3日)に見回り、成虫を見つけた場合は捕殺する。



○捕殺の方法

- ①フラスが出ている穴(排ふん孔)周辺の樹皮を剥ぎ、針金やドライバー等で幼虫を刺殺または掘り取り、捕殺します。
- ②幼虫を捕殺した後も、新たなフラスの排出がないか、定期的に見回ります。

(2) 薬剤処理(処理後は看板や張り紙等で周知してください)

※農薬は必ず、最新の登録情報を確認の上、使用基準を遵守して使用してください。

【確認方法】

⇒ 農薬登録情報提供システム(<https://pesticide.maff.go.jp/>)で検索！

ア 農薬を散布する(薬剤散布)

- 成虫を対象として、農薬を散布する方法です。
- ・根元から約3mの高さまで、樹幹や枝にかかるように丁寧に薬剤を散布する。ただし、3m以上の高さにフラスがある場合は、その高さまで散布すること。
- ・5月から8月までの期間に、10～14日間隔で2回以上散布する。
- ・薬剤によっては予防効果も期待できる。



イ 排ふん孔に薬剤を注入する(エアゾール剤処理)

- 排ふん孔から、樹木内にいる幼虫へ直接薬剤を吹きかけて殺虫する方法です。
- ・竹ひごや干枚通しで排ふん孔に詰まったフラスを取り除く。
- ・排ふん孔にノズルを差し込み、薬剤があふれるまで注入する。
- ・地面も含め、周辺のフラスを取り除き、1週間後に新たなフラス排出の有無を確認する。
- ・新たなフラスの排出がある場合は、再度処理を行う。



(左) エアゾール薬剤
(右上) 排ふん孔周辺のフラスを除去
(右下) 排ふん孔から薬剤を注入

ウ 樹幹に孔を空けて薬剤を注入する(樹幹注入)

- 樹幹に薬剤を打ち込み、樹木全体に薬剤を行き渡らせて、樹木内にいる幼虫を殺虫する方法です。
- ・地際付近の樹幹にドリルで孔(注入孔)を空ける。この時、枯死部は避け、必ず生きている部分に孔を空けること。また、根の部分に幼虫がいる場合があるため、根にも孔を空ける。
- ・注入孔に薬液ボトルまたは注入補助器をしっかり挿し、薬液を注入する。
- ・薬液が樹木内に吸収されたことを確認し、薬液ボトルまたは注入補助器を外した後、専用のパテで注入孔を埋める。



① 株元の周囲を測定
② 10～15cm 間隔で薬剤を配置
③ 直径6mm程度の穴を50度の角度で6～7cmの深さにドリルで開ける
④ 薬剤を差込む。30分～2時間で終了

(3) 被害木の伐採・処分

- 被害木の伐採は、確実に幼虫を駆除できるため、被害拡散防止として最も有効な対策です。
- 伐採は、成虫の脱出の恐れのない10月～4月下旬に実施します。
- 伐採した被害木は、枯れても成虫が脱出するため、放置せず、4月下旬までに焼却または粉碎処分してください。
- 焼却、搬出先は、市町村の担当課と相談して決定してください。
- 速やかな処分が難しい場合や、やむを得ず5月～9月に実施する場合は、ネットやシート等で隙間の無いよう多重巻きで密閉し、保管、搬出してください。
- 幼虫は根部にも食入することがあるため、伐採後の切り株も掘り上げ(抜根)し、処分してください。抜根が難しい場合は、根を防草シート等で完全に覆ってください。覆う前に切り株に覆土するとより効果があります。